

能楽講座「能楽師に聞く 能の楽しみ」入門編 【2023.5.31】

エンターテインメントの表現での現在と昔のちがいが、舞のかまやかたの説明がおもしろかったです。 (50代)

わかりやすく大変おもしろかったです。能に興味を持ったので足を運んでたくさんいろんな演目をみたいと思います。日本の芸能の深さをあらためてかんじ感動しました。 (60代)



Noism0 / Noism1「領域」 【2023.6.30-7.2】

最初は、とてもせまいステージに見えていたのに、少しずつ見える「領域」が広がっていくのがとても不思議な感覚でした。 (10代)



初めて現代舞踊の公演を見ました。不思議な時間でした。様々なスポーツ種目の決定的な場面をスロービデオで見ているような感じが何度も何度もありました。 (60代)

りゅーとぴあマガジン読者プレゼントコーナー

① PARCOプロデュース『海をゆく者』
【出演】小日向文世、高橋克実、浅野和之、大谷亮介、平田 満

公演日
2024年1月7日(日)
13:00
会場:劇場

抽選で
ペア2組4名様

② 能楽堂で楽しむ節分

公演日
2024年2月3日(土)
13:00
会場:能楽堂

抽選で
ペア2組4名様

③ 二兎社『パートタイマー・秋子』
【出演】沢口靖子、生瀬勝久 ほか

公演日
2024年2月14日(水)
18:30
会場:劇場

抽選で
ペア2組4名様

応募方法: (1)ご希望の公演名 (2)氏名 (3)〒住所 (4)電話番号 (5)年齢 (6)本誌を入手した場所 (7)本誌へのご意見・ご感想を記入の上、はがきかE-mailでご応募ください。
〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3-2「りゅーとぴあマガジンvol.73プレゼント係」present@ryutopia.or.jp
応募者の中から抽選し、当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。いただいた個人情報はプレゼントの発送のみに使用します。2023年11月30日(木)必着

お問い合わせ

休館日:毎月第2・第4月曜日、年末年始(12/29～1/3)
※祝日の場合はその翌日

■館内案内・プレイガイド	TEL.025-224-5622(11:00～19:00)
■チケット専用ダイヤル	TEL.025-224-5521(11:00～19:00)
■施設利用お問い合わせ	TEL.025-224-5621(9:30～18:00)
■N-PAC mate友の会事務局	TEL.025-224-5631(平日 10:00～18:00)
■事業企画部	TEL.025-224-7000(平日 10:00～18:00)
■新潟県民会館	TEL.025-228-4481
■音楽文化会館	TEL.025-224-5811

「りゅーとぴあマガジン」はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館の他にも下記にて無料配布しています。

新潟市役所、区役所、連絡所、公民館、コミュニティセンター、みなとぴあ、マリンピア日本海、ほんぼーと、新潟市美術館、新津美術館、朱鷺メッセ、新潟ふるさと村アピール館、新潟県立図書館、長岡リリックホール、魚沼市小出郷文化会館ほか県内・県外文化施設など
「りゅーとぴあマガジン」に関するお問い合わせは事業企画部 広報営業課まで
次号vol.74は2024年4月発行予定です。

新潟市芸術文化振興財団はりゅーとぴあ・音楽文化会館・新潟県民会館を一体的に管理しています。

編集後記

りゅーとぴあでは様々な方法でお客さまに情報をお届けしています。最近ではホームページやSNS、動画配信などオンラインでお知らせする機会が増えました。今年度からはLINE公式アカウントをスタート。オンラインが増えた分、りゅーとぴあマガジンは春秋の年2回発行となりました(カレンダーは年4回発行のまます)。今後も最適な方法を模索し、より良い情報提供を心がけていきます!(T)

その先の感動へ



Known as "Ryutopia," the Niigata City Performing Arts Center was founded in October 1998 as the hub of performing arts, offering a varied range of music, theater, dance, and traditional Japanese Noh

plays from the heart of Niigata City. The performance halls boast superb facilities and expert theatrical stage staff, promising an exceptional artistic experience to visitors and users

alike. Ryutopia aims to be an art venue that meets the expectations of both audience and performers, while contributing to the appreciation of the performing arts.

vol. 73
2023
Autumn／Winter



りゅーとぴあは2023年10月22日、25周年を迎えます。25周年記念サイトで思い出キャンペーンを実施中。総勢300名以上の方に公演チケット等をプレゼント! 詳しくは、本紙9ページをチェック! [詳細はこちら](#)



りゅーとぴあホールスポンサー(敬称略 50音順)



Ryutopia Magazine 2023 Autumn／Winter vol.73 2023年10月1日発行

発行: りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館 〒951-8132 新潟市中央区一番堀通町3番地2(白山公園内) 編集: りゅーとぴあ 新潟市民芸術文化会館
制作: 株式会社 新交企画 デザイン: 株式会社 U-STYLE 印刷: 島津印刷株式会社



Life with Performing Arts

田中角栄と実在した政治家たちの 壮大な“会議エンターテインメント”

JACROW(ジャクロウ)「闇の將軍」シリーズは、柏崎市(旧刈羽郡二田村)出身の政治家・田中角栄の生涯を描く四部作。角栄の没後30年にあたる今年12月と来年1月、再び東京・魚沼・新潟で一挙上演が決定。脚本・演出を担うJACROW代表の中村ノブアキさんに意気込みを伺いました。

中村ノブアキ NAKAMURA Nobuaki

千葉県出身。横浜国立大学在学中に演劇活動を開始。2001年JACROWを旗揚げ、脚本・演出を担当。2015年鶴屋南北戯曲賞ノミネート、テアトロ新人戯曲賞受賞。『闇の將軍』シリーズ第3弾の脚本・演出で2020年、紀伊國屋演劇賞個人賞受賞。外部作品への脚本提供や演出も数多い。

インタビュー全文は
りゅーとぴあホームページ
「スタッフのひとりごと」にて掲載中！▶



取材・文／本間千英子

——田中角栄と昭和の政治家たちの政争劇。登場人物は全て実在の政治家、しかも実名で演じられます。

2014年ごろ、角栄さんの伝記をいくつか読んだことから生まれた作品です。それまで全く関心のなかった角栄さんの人間性に魅了されましたし、彼が関わった政治闘争のエピソードが非常に面白かったので脚本にし、16年、第1話『夕闇、山を越える』を初演。たくさんの方に見ていただき「続編が見たい」という声が多かったのでシリーズにしました。

——シリーズそれぞれの見どころは。

第1話はいわゆる「料亭政治」を覗き見る感覚。料亭という密室での政治家の振る舞いや言葉遣い、芸妓や女将の所作などにこだわり、リアリティを追究しています。第2話『宵闇、街に登る』は何と言っても、角栄さんがずっと支えてきた佐藤栄作＝栄ちゃんが自分を後継者に指名しない腹づもりと悟り、田中軍団を結成して総理大臣になる後半ですね。栄ちゃんに啖呵を切る角栄さんにスカッとするよ。第3話『常闇、世を照らす』は、特に娘の

眞紀子さんにご注目ください。角栄さんの愛人たちをすさまじい勢いで罵倒し続けるシーンがパワフル。女の闘いも描いています。

——新潟のお客さまへのメッセージをお願いします。

新潟を訪れるたびに、熱意ある演劇人の皆さんと触れ合えることを楽しみにしています。りゅーとぴあの劇場で再演する、新潟に根差した人たちの大河ドラマですので、ぜひ足を運んでいただきたい。終演後、一言でも感想をいただければうれしいですね。

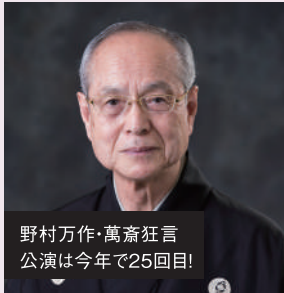
Information

【りゅーとぴあNext Stage“NE/ST(ネスト)”プラス】
田中角栄の人生を描く演劇長編 JACROW「闇の將軍」四部作
【日時】2024年1月13日(土) 【料金】【各回】全席指定4,000円
第1話『夕闇、山を越える(拡大版)』※ 11:00開演 U25 2,000円
第2話『宵闇、街に登る』14:30開演 [3話セット券] 全席指定10,000円
第3話『常闇、世を照らす』18:00開演 U25 4,500円
※第1話に第0話『やみのおふくろ』を加えて上演 【脚本・演出】中村ノブアキ
【会場】劇場 【出演】狩野和馬、谷仲恵輔、小平伸一郎 ほか
■発売日 会員先行:10月26日(木) 一般:10月28日(土)

25th お祝いメッセージ

おめでとうございます。四半世紀ですね。市民に開かれた、交流の機会を作っている劇場で、文化の発信拠点として機能していることにいつも感じています。25年といわず50年、100年を目指して、これからも市民県民への文化発信拠点であり続けてほしいです。

25th お祝いメッセージ



狂言方と泉流能楽師
野村万作さん

25周年誠におめでとうございます。開館の年から狂言公演のご縁を頂き、有難く存じております。こじんまりとした観客との一体感が生まれ易い能舞台、劇場では新作などスペクトルな要素のある公演もさせて頂きました。充実した事業を継続されますと共に、古典芸能の普及にも引き続きお力添えくださいますようお願いしております。

りゅーとぴあ開館25周年記念事業 野村万作・萬斎狂言公演
12月8日(金)15:00開演・9日(土)13:00／17:00開演 能楽堂

ケムリ研究室
ケラリーノ・サンドロヴィッチさん
緒川たまきさん

開館25周年おめでとうございます。いつも温かく迎えて下さってありがとうございます。新たな緊張と共に旅公演へと出発するカンパニーにとって、「りゅーとぴあ」は柔らかに力みを抜いてくれる頼れる存在です。今年はケムリ研究室『眠くなっちゃった』の皆で伺います。少しでもご恩返しが出来ますよう、精一杯頑張ります。

ケムリ研究室no.3『眠くなっちゃった』
11月4日(土)・5日(日)各日13:00開演 劇場



ケムリ研究室としては初のりゅーとぴあ劇場公演!



シャモニー上大川前店にて

——「りゅーとぴあジルベスター・コンサート2023」は、バーンスタイン「ウェスト・サイド・ストーリー」から始めるそうですね。

私の好きなミュージカル作品から始まり、今注目の若手ソリスト二人の演奏に、Noismのダンスもあるゴージャスなプログラムです。一年を締めくくる特別な日に、コンサートホールで生の音楽を体験する高揚感を味わっていただけると、とってもおきの内容になっています。

——ソリストについて教えてください。

ピアニストの亀井聖矢さんとは2022年9月「第26回 京都の秋 音楽祭 開会記念コンサート」で急な代役ソリストとして一緒に演奏してもらいました。その時、彼は『ラフマニノフ ピアノ協奏曲 第3番』に初挑戦だったのですが、堂々たる演奏に驚きましたね。その年の11月にロン＝ティボー国際音楽コンクールで第1位、評論家賞、聴衆賞も同時受賞と素晴らしい活躍。今回、最も有名な『第2番』を演奏できるのがとても楽しみです。

ヴァイオリンの服部百音さんには、私の東京交響楽団正指揮者就任コンサートでバーンス

Information

りゅーとぴあ開館25周年記念事業

りゅーとぴあジルベスター・コンサート2023

【日時】12月31日(日)15:00開演 【会場】コンサートホール

【料金】全席指定10,000円 U25 6,000円

【出演】原田慶太楼(指揮)、東京交響楽団(管弦楽)、亀井聖矢(ピアノ)
服部百音(ヴァイオリン)、石丸由佳(オルガン)、Noism Company Niigata(舞踊)
佐藤智香子(司会)

【曲目】バーンスタイン:ウェスト・サイド・ストーリー・セレクション
ラフマニノフ:ピアノ協奏曲第2番
ラヴェル:ツィガース、ボレロ (Noism共演) ほか

■発売日 会員先行:9月19日(火) 一般:9月23日(土・祝)

今年の大晦日、スペシャルな 音楽と一緒に過ごしましょう！

大晦日の特別演奏会「りゅーとぴあジルベスター・コンサート」が7年ぶりに開催。原田慶太楼さんの指揮で、東京交響楽団とピアノの亀井聖矢さん、ヴァイオリンの服部百音さん、りゅーとぴあ専属オルガニストの石丸由佳さんとNoism Company Niigataが共演し、華やかな名曲を演奏します。指揮者の原田さんに意気込みを語っていただきました。

原田慶太楼 HARADA Keitaro

欧米を中心にめざましい活躍を続けている期待の俊英。2021年4月東京交響楽団正指揮者に就任。シンシナティ響、アリゾナ・オペラ、リッチモンド響のアソシエイト・コンダクターを経て、2020年シーズンからサヴァンナ・フィルハーモニックの音楽&芸術監督。オペラでもアリゾナやノースカロライナ、ブルガリア国立歌劇場等で活躍。2010年タングルウッド音楽祭で小澤征爾フェロー賞、2013年B・ワルター指揮者レビュー賞、米国シヨルティ財団キャリア支援賞6度、2023年には日本人初となるトップのコンダクター賞を受賞。2009年キャソルトン・フェスティバルにL・マゼールの招待を受けて参加。第29回渡邊曉雄音楽基金音楽賞、第20回齋藤秀雄メモリアル基金受賞。

取材・文／本間千英子

タインの協奏曲『セレナード』を演奏してもらいました。今年6月に関西フィル定期演奏会でファジル・サイ:ヴァイオリン協奏曲『ハーレムの千一夜』でも共演しています。百音さんとのコラボレーションはいつもドラマチック。音楽で物語を表現できるソリストです。

——原田さんにとってコンサートとは。

コンサートはエンターテインメント性がとても大事。音楽を楽しむTime、Place & Occasion(時間、場所、機会)＝TPOを演奏でお客さまにプレゼントするのが私のモットーです。出演者もお客さまも、一緒にいる時間を200%楽しんでもらいたいと常に考えて指揮をしています。

——アーティストとして心がけていることはありますか。

日本語の「音楽」という漢字に込められた「音」を「楽しむ」というすてきなメッセージを大切にしています。また、音楽をジャンルで区別する必要は感じません。世界には誰もが認める素晴らしい音楽分野のアーティストがたくさんいる。さまざまな音楽をインスピレーションにして自分の

感性を磨いていきたいんです。私はレディ・ガガ、ケイティ・ペリー、エド・シーランなどポップやロックのアーティストも大好きでよく聴いていますよ。

——コンサートでは原田さんのトークも人気です。

一人っ子で、幼い時から常に大人と会話をしていました。インターナショナル・スクールに通っていたので、学校でディベート＝議論するシチュエーションが多く、トーク力がないと周囲に相手にされない、厳しい環境でした。誰とでも会話ができるように意識しながら成長しました。人との会話で時には新しい情報や知見を得ることもできますし、何より楽しいので、ステージでお客さまにお話するのは好きですね。

——新潟のお客さまにメッセージをお願いします。

今年のジルベスター・コンサートは、クラシックファンでなくてもなじみのある曲が盛りだくさんのプログラム。オーケストラのコンサート未経験の友人や知人も誘い合ってお越しください。極上の音楽に包まれながら今年の大晦日を一層特別な日にしましょう！

25th お祝いメッセージ

りゅーとぴあのファンの皆様、スタッフの皆様、開館25周年おめでとうございます。私は東京交響楽団とりゅーとぴあの素晴らしい音響でリハーサルやコンサートをするのがとても好きです！これからもりゅーとぴあで皆様と音楽で会話できるのを楽しみにしております！



2023 AUTUMN/WINTER

RYUTOPIA NAVIGATION

2023～24年、秋冬のおすすめ公演をピックアップ。
公演情報の詳細は、本誌折込のりゅーとぴあ
カレンダーをご覧ください。

～りゅーとぴあ開館25周年記念事業 大特集～

2023年10月22日(日)に、りゅーとぴあ新潟市民芸術文化会館は25回目の誕生日を迎えます。
芸術の秋にふさわしい、25周年を彩るさまざまな公演をご紹介します！

読響が23年振りにやってくる！
83歳“炎のコバケン”が振る《チャイコフスキー》

国内屈指の実力派オーケストラ「読売日本交響楽団」がりゅーとぴあのステージに登場。率いるは83歳“炎のマエストロ”こと小林研一郎。読響の特徴である重厚なサウンドを最大限引き出し、チャイコフスキーの傑作《交響曲第5番》をお贈りします。メンデルスゾーンヴァイオリン協奏曲では、バラエティ番組などにも出演して人気の木嶋真優がソロを演奏。注目の指揮者・オケ・ソリストの3拍子揃った豪華公演が実現したのは、りゅーとぴあ開館25周年だからこそ。お楽しみに！



読売日本交響楽団
小林研一郎 (指揮)
木嶋真優 (ヴァイオリン)

読売日本交響楽団
■10.9(月・祝)16:00開演 ■コンサートホール

開館25周年を記念し、
祝賀の能「石橋」を上演！

歌舞伎「連獅子」の元になった作品であり、勇壮な獅子の舞でも知られる能「石橋」。今回は小書という特殊演出がつくため、赤白に桃色を加えた三色の牡丹が舞台上に飾られ、赤と白の親子二頭の獅子が登場する豪華仕様での上演です。能「石橋」は宝生流家元・宝生和英が、狂言「素袍落」には人間国宝・山本東次郎が登場します。



秋の能楽鑑賞会(宝生流)
■10.29(日)13:30開演 ■能楽堂

出演者総勢30名以上！捧腹絶倒の最大の狂言
「唐人相撲」が能楽堂バージョンで登場！！

人間国宝・野村万作と、多彩なジャンルで活躍する野村萬斎による狂言公演シリーズ。今年は野村裕基も加え、狂言親子3代をお楽しみいただきます。今回は最大の狂言「唐人相撲」が能楽堂バージョンで登場です。出演するのは総勢30名以上！唐音という架空の言葉話しながら、ユニークでアクロバティックな動きで賑やかに能舞台を演出します。唐人たちのユーモアたっぷりの負けっぶりからは目が離せません！華やかで躍動感溢れる作品をどうぞお見逃しなく。



第25回りゅーとぴあ古典狂言シリーズ
野村万作・萬斎狂言公演「唐人相撲(とうじんすもう)」
■12.8(金)15:00開演・9(土)13:00／17:00開演 ■能楽堂

ついに降臨。カルテット界の至宝
「ジュリアード弦楽四重奏団」が新潟に！

77年もの歴史と伝統を誇る「ジュリアード弦楽四重奏団(JSQ)」が初めてりゅーとぴあコンサートホールに降り立ちます。注目は、ヨーロッパの音楽界を席巻するイェルク・ヴィトマンがベートーヴェンの後期弦楽四重奏曲にインスパイアされ、JSQのために書き下ろした委嘱曲(日本初演)です。ベートーヴェンとヴィトマン、2人の作曲家の歴史を縦断するプログラム。弦楽四重奏の味わい深さが余すところなく感じられることでしょう。



スタッフ
から一言

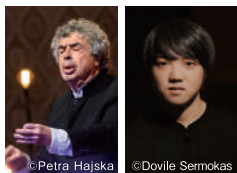
当公演は、新型コロナ禍で中止を余儀なくされ、2年越しの実現となります！



りゅーとぴあ室内楽シリーズNo.51
ジュリアード弦楽四重奏団
■10.17(火)19:00開演 ■コンサートホール

ドヴォルザークの本場
“チェコ”の国宝級オーケストラ来日！

世界の有名オーケストラの中でも、伝統息づく名門「チェコ・フィルハーモニー管弦楽団」が演奏するのは、チェコの魂「ドヴォルザーク」の三作品。《交響曲第8番》はドヴォルザークがアメリカに渡る前に作曲した、チェコでの作曲人生の集大成にあたる曲で、チェコの雄大な情景が広がります。協奏曲には、大人気ピアニスト・藤田真央が登場し、滅多に聴く機会のない激レア曲目のドヴォルザーク《ピアノ協奏曲》を演奏。今年最も注目を集めている海外オーケストラ日本ツアーです！

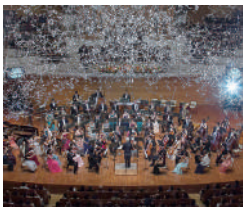


セミョン・ビシュコフ (指揮)
藤田真央 (ピアノ)

チェコ・フィルハーモニー管弦楽団
■10.30(月)18:30開演 ■コンサートホール

大晦日の午後はゴージャスに華やかに！
今年一年を締めくくる特別なステージ。

今年一年、終わり良ければすべてよし！大晦日の午後は、りゅーとぴあコンサートホールにお越しください。気鋭の指揮者・原田慶太楼と東京交響楽団が「バーンスタイン「ウェスト・サイド・ストーリー」・セレクション」ほか、20世紀が生んだ名曲を次々に演奏します。それを彩るのはピアニスト・亀井聖矢や、ヴァイオリニスト・服部百音といったきらめくソリストたち。さらに今回は、メインのラヴェル「ボレロ」でなんとNoism Company Niigataが共演！興奮必至の特別なステージを是非。



りゅーとぴあジルベスター・コンサート2023
■12.31(日)15:00開演 ■コンサートホール

楽しいリズムと言葉が伝わる日本語の歌
生の舞台だからこそ想像力が刺激される！

第1部は、おもしろくて少しシュールな歌や不思議なリズムの「うたのステージ」。新潟市ジュニア合唱団も加わって、にぎやかで楽しい新潟バージョンでお贈りいたします。第2部のオペラ「タング」は味音痴の少年が風変わりな妖精「タング」の魔法にかけられて…。お父さんとの約束のために奮闘する夢と魔法の物語。主人公の置かれた状況に同情したり、応援したり、やさしい気持ちやあきらめない心を思い出させてくれるステージです。



オペラシアター・こんにゃく座
オペラ『タング～まほうをかけられた舌～』+うたのステージ
■10.14(土)14:00開演 ■劇場

ショパン国際ピアノコンクール第4位入賞！
小林愛実の「ショパン×シューベルト」

今最も聴くべきピアニストのひとり小林愛実、待望のりゅーとぴあ公演です。2021年第18回ショパン国際ピアノコンクールで第4位入賞を果たし、大きく注目を集めています。コンクール入賞にちなみ、ショパンの作品をメインとしたプログラムをお届けします。演奏会の後半には、小林愛実本人が「美しい」と語るシューベルトの作品を演奏。栄光を勝ち取ったショパンの作品、そして小林愛実の新たな一面としてのシューベルトとあわせてお楽しみください。



小林愛実(ピアノ)

りゅーとぴあピアノ・リサイタルシリーズNo.47
小林愛実ピアノ・リサイタル
■11.23(木・祝)14:00開演 ■コンサートホール

りゅーとぴあ専属オルガニスト・石丸由佳と
子どもの劇団APRICOTが夢のコラボレーション！

もしも、クリスマスイブの夜に、サンタクロースがいなかったら？クリスマスケーキがなかったら？今年のクリスマスコンサートは、APRICOTのメンバーが北欧のトナカイや冷蔵庫の中の調味料に扮して大活躍！！パイプオルガンがさまざまな音色を奏で、物語を導きます。サンタとケーキがないクリスマスは、いったいどうなるのでしょうか？パッパの名曲やクリスマスソングにのせて、思い出に残るクリスマスのひとときを。



りゅーとぴあオルガン・クリスマス特別公演2023
専属オルガニスト石丸由佳×演劇スタジオ キッズ・コースAPRICOT
『クリスマス・ストーリー サンタとケーキがないクリスマス!?』
■12.16(土)16:00開演 ■コンサートホール

ジョナサン・ノット監督登場！
今年の曲はベートーヴェン「田園」

ジョナサン・ノット監督が今年りゅーとぴあで振るのは、ベートーヴェン「田園」。俗世のしがらみから解放たれ、自然の中に身を置くことを好んだベートーヴェンの「喜び」が満ちた音楽。ノット監督はどのような景色を音楽で描くのか、期待が高まります。ピアノ協奏曲では、ノット監督が共演を熱望したドイツ正統派ピアニストのゲルハルト・オピッツが演奏。2022年、りゅーとぴあでNDR北ドイツ放送響と共演したオピッツの演奏をまた楽しめる絶好の機会です。



ジョナサン・ノット(指揮) ゲルハルト・オピッツ(ピアノ)

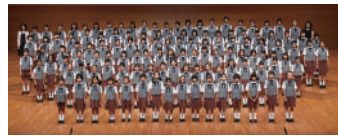
東京交響楽団 第134回新潟定期演奏会
■11.12(日)17:00開演 ■コンサートホール

《白鳥の湖》《眠りの森の美女》《くるみ割り人形》
チャイコフスキー三大バレエ音楽

今年度の東響新潟定期を締めくくるのは、チャイコフスキーの三大バレエ音楽。《白鳥の湖》《眠りの森の美女》《くるみ割り人形》の各組曲に加え、全曲版から抜粋した曲も加えて演奏する、りゅーとぴあオリジナルラインナップです。《くるみ割り人形》の「雪片のワルツ」では、新潟市ジュニア合唱団が歌声を披露。冬の時期にふさわしい、美しい音楽が響き渡ります。名曲が次々に登場する三大バレエ音楽をぜひお聴き逃しなく。



川瀬賢太郎(指揮)



新潟市ジュニア合唱団

東京交響楽団 第135回新潟定期演奏会
■12.3(日)17:00開演 ■コンサートホール

新潟が生んだ世界的なオルガニスト・石丸由佳
専属オルガニスト任期最後のリサイタル

新潟市出身で、りゅーとぴあのオルガンがきっかけでオルガニストへの道を進んだ石丸由佳。2020年4月からりゅーとぴあ専属オルガニストを務め、より多くの新潟の皆様にオルガンを知っていただきたいと、さまざまなイベントやリサイタルを開催してきました。また、新潟にとどまらず、全国各地でオルガンの魅力を伝える活動を行っています。任期最後にお届けするのは、応援してくださった新潟の皆様への感謝のプログラムです。



りゅーとぴあ専属オルガニスト石丸由佳 ラスト・リサイタル
■2024.3.16(土)14:00開演 ■コンサートホール

“KERA×緒川たまき” 主宰ユニット 「ケムリ研究室」がついに新潟初登場！

2020年に旗揚げし、過去作では読売演劇大賞 優秀作品賞、最優秀女優賞、紀伊國屋演劇賞個人賞など、多くの賞を受賞し話題を呼んできた「ケムリ研究室」がついに新潟初登場！

今作の時代背景は、いつか見た懐かしい未来。追い詰められ世界を呪う人、生きることに草臥れた人、社会に怒れる人——そんな人々が織り成す、ほろ苦い異色SF劇。

出演者には緒川たまきをはじめ、北村有起哉、音尾琢真、奈緒、水野美紀、山内圭哉、野間口徹、犬山イヌコ、篠井英介、木野 花など実力派俳優が集結！「ケムリ研究室」が手掛ける新たな“研究”にどうぞご期待ください。



ケムリ研究室no.3『眠くなっちゃった』
■ 11.4(土)・5(日) 各日13:00開演 ■ 劇場

今再び注目が集まる伝説の政治家・田中角栄 その激動の人生を描いた四部作が待望の再演！

新潟出身の伝説の政治家・田中角栄を描いた、JACROW「闇の将軍」シリーズは、脚本・演出を担当した中村ノブアキが紀伊國屋演劇賞個人賞を受賞するなど高い評価を得てきました。田中角栄没後30年にあたる2023年度に、新たに第0話を加えた四部作を一挙上演で再演します。事実をもとにしたフィクションとして政治の話をつまみやすく、そして何より面白く、壮大なエンターテインメントに仕上げられた傑作をぜひご覧ください！



【りゅーとぴあNext Stage“NE/ST(ネスト)”プラス】
JACROW「闇の将軍」四部作
■ 2024.1.13(土) ■ 劇場
11:00開演 第1話『夕闇、山を越える(拡大版)』※
14:30開演 第2話『宵闇、街に登る』
18:00開演 第3話『常闇、世を照らす』
※第1話に第0話『やみのおふくろ』を加えて上演

500円で能にチャレンジできる！ まだ能を観た事がない方、必見です！

毎年恒例の子ども向け能楽体験イベントをリニューアルし、一般のお客様にも後半の半能(能の見どころのみ)を上演する形式を500円で公開！能を観た事がない方にぜひおすすめしたい公演です。今回の演目「小鍛冶」は刀鍛冶が狐の精霊として現れた稲荷明神と共に宝剣を作り上げるお話。舞台上でリズムカルに刀を打つ場面が見どころです。



のぞいてみよう能の世界
■ 12.2(土)14:45(開場予定14:30頃) ■ 能楽堂
※本公演は子ども向け能楽体験事業の一部を公開します。
開場および開演時刻は前後する可能性があります。

平均年齢70歳目前 百戦錬磨の演劇界レジェンドが結集！！

小日向文世、浅野和之、大谷亮介、平田 満が9年ぶりに集結!! 新たに高橋克実も加わり、愛すべきダメ男たち5人が帰ってくる！クリスマス・イヴ、最後に笑うのは、誰だ？ ポーカーゲームのごとく、百戦錬磨の名優たちが「舞台」というテーブルの上で、「言葉」というカードを切りまくる。

笑いとはサスペンスに満ちた、丁々発止のスリリングなダーク・コメディ！
どうしようもないおやじたちの愛おしいばかりのクリスマスファンタジー。
珠玉の名作を2009年以来、15年ぶりに新潟で上演します。



PARCOプロデュース
『海をゆく者』
■ 2024.1.7(日)13:00開演 ■ 劇場

永井 愛の人気作品を沢口靖子・生瀬勝久で舞台化！

永井 愛が20年前に青年座に書き下ろし再演もされた人気作品を、今回初めて永井自身の演出で上演します。主演に沢口靖子を迎え、生瀬勝久など豪華俳優陣が贈る現代劇。セレブな生活を送る専業主婦・秋子。夫の会社の倒産を機にスーパーで働き始めることに。しかし、ここでは想像を超えた不正が横行していて——。笑いながらも背筋が凍る辛口喜劇をどうぞお楽しみください。



二兎社『パートタイマー・秋子』
■ 2024.2.14(水)18:30開演 ■ 劇場

特別な能「翁」を10年ぶりに上演！ 翁と天女が能楽堂に降臨し未来を寿ぐ！

開館25周年を記念し、神聖な「翁」を10年ぶりに上演します。舞台開きなど特別な機会に上演される能で、翁による祈りと祝福の話と舞の寿ぎは唯一無二の体験です。天女の舞が美しい名曲「羽衣」では、観世流二十六世宗家・観世清和の嫡男・観世三郎太が出演！ 能を大成した観阿弥・世阿弥を祖とする観世宗家に生まれ、次世代を担う存在として活躍する若き能楽師の舞台にご期待ください。



🎁 来場者に特製和菓子をプレゼント！

【日本全国 能楽キャラバン! in新潟】
観世流特別公演〜翁〜
■ 12.24(日)13:00開演 ■ 能楽堂

梅の香の漂うなか、和泉式部の霊が 和歌の素晴らしさを語り、舞います。

現役能楽師4人と、歌人の梅内美華子による解説・実演が大人気の能楽講座シリーズ。毎回1つの能を取り上げ、能の見どころをご紹介していきます。気になる今回のテーマは、能「東北^{とうほく}」。日本人になじみ深い和泉式部が主役のこの能は、梅の香りの漂うなか和泉式部が和歌の素晴らしさを語り、舞を舞うというシンプルな内容で、その姿を通して平安時代の華やかな王朝文化を伺い知ることができます。梅花の候、美しく香しい、優雅な風情を感じてください。



能楽講座第2回
「能楽師に聞く 能の楽しみ〈春〉」
■ 2024.2.23(金・祝)14:00開演 ■ 能楽堂

その一打一打より奏でられる「音」は、 人々の生きる力を鼓舞する。佐渡からの世界へ。

今作は“いのちもやして”舞台表現をする若者たちのひたむきな姿が、人の心を打ち抜く作品。佐渡という離島に根ざした若者たちに内在するエネルギーは、観る者の明日への活力を醸成します。今回クライマックスの「大太鼓」奏者として初めて抜擢されたのは鼓童メンバーの米山水木。女性でありながらもしなやかでパワフルな演奏に注目です。「人々の生きる力を鼓舞する」舞台を目指し、佐渡から世界へ音を届けます。



鼓童『いのちもやして』
■ 10.22(日)14:00開演 ■新潟県民会館 大ホール

15年ぶりに花組が新潟へ登場！

〈主演〉
永久輝せあ
〈演目〉
ミュージカル・ブレイ
『激情』—ホセとカルメン—
脚本／柴田侑宏 演出・振付／謝 珠栄

ネオ・ロマンチック・レビュー
『GRAND MIRAGE!』
作・演出／岡田敬二

※写真は公演内容とは異なります。



宝塚歌劇花組全国ツアー 新潟公演
■ 11.23(木・祝)13:30・18:00開演 ■新潟県民会館 大ホール

東京バレエ団と金森 穰による3年にわたる プロジェクトがいよいよ完結！

Noism芸術総監督・金森 穰が手掛けたグランド・バレエ、「かぐや姫」。10月に東京での初演を経て、新潟での公演が実現。「人間とは何か」という問いを残す壮大な結末に、どうぞご期待ください。



全3幕での上演は穰さんの作品に込めた意図がより明確に見えるのではと今から楽しみです！キャストも秋山 瑛さん、柄本 弾さん、沖香菜子さんとみな一押しの方ばかり。お見逃しなく。



東京バレエ団×金森穰「かぐや姫」全3幕
■ 12.2(土)16:00開演・3(日)14:00開演 ■ 劇場

観るだけで、幸せになれる。 これぞミュージカルコメディの決定版！

珠玉のガーシュウィン・ナンバー、心地よいタップをはじめ多彩なダンス、そして笑いあふれるラブ・コメディと、まさにミュージカルの真髄ともいえる魅力満載の『クレイジー・フォー・ユー』。底抜けに明るく、観るだけで幸せ気分に満たされる舞台が、新潟にて8年ぶりに上演決定！1993年に日本初上陸して以降、東京をはじめ全国各地で愛されてきた、恋とタップとガーシュウィンに酔いしれる、底抜けに明るいミュージカルを今こそご覧ください。



劇団四季ミュージカル『クレイジー・フォー・ユー』
■ 11.17(金)18:30開演・18(土)13:00開演 ■新潟県民会館 大ホール

今、世界中を熱狂させる「7本指のピアニスト」 によるトーク&ピアノコンサート。

ニューヨークを拠点に活動し、カーネギーホールなどで聴衆を熱狂させているピアニスト。輝かしいキャリアの途中で、突然ジストニアという難病に冒され、両手の演奏機能を完全に失った。懸命なりハビリの末、ようやく7本指で再起を果たした奇跡の音楽家の演奏は、魂を揺さぶる唯一無二の音を奏でる。全ての人に開かれたインクルーシブコンサートを目指し、西川悟平の魅力溢れるピアノ&トークをお届けします。



『奇跡の7本指ピアニスト』西川悟平インクルーシブコンサート
■ 12.9(土)14:00開演 ■新潟県民会館 大ホール



偏愛、 Noism

ファンがNoism愛を語るコーナー。今回は器のお店を営む小笹さん。わがままを言ってNoismの監督お三方のイメージに合う器を選んでもらいました。必見!

vol.14 小笹教恵さん

阿賀町出身。インテリアコーディネーター。2014年に新潟市上古町に器の店、ヒメミズキを開店。趣味は読書とランニング。

分からないことだらけ。
それが楽しいんです!

徹底した予習復習で 公演前も後も長く楽しむ。

人形のような演技に
衝撃を受けました



『ホフマン物語』 に衝撃

最初に観た作品は、劇的舞踊『ホフマン物語』(2010年)。オランピア役の演技が衝撃的で、一気に(井関)佐和子さんのファンになりました。陶芸の場合、人間の力を超えた何かを最後の焼成に委ねるところがありますが、舞踊作品は自分たちの身体で作らなければなりませんよね。佐和子さんを見ていると人間はこんなに美しいものかと毎回感動しますし、人間のすごさを感じます。

予習復習が 好き!

Noismの作品って分からないことも多いじゃないですか。それが楽しいんです。「あれはどういうこと?」と考え続けるのが好きなので。加えて、上演中は舞踊家たちの表情や身体の使い方などに集中したいので、作品の予習復習は欠かせません。使われる曲が事前に分かれば調べますし、劇的舞踊なら原作を購入して読みます。(金森)穂さんの作品は、違う角度からものを見ることの大切さに気づかせてもらえてありがたいと思っています。

原作本とDVDで復習!



左から穂さん、佐和子さん、
勇氣さんです



3人の監督を 器に例える なら

穂さんは、スタイリッシュですが安心感のある二階堂明弘さんの玉殻(ぎょかく)と名付けられた花器です。佐和子さんは、曲線が美しい打田翠さんのlandscapeという花器。二度と同じものができない作り方をしている作家さんで、公演ごとに異なる味わいを見せてくれる佐和子さんと重なりました。山田勇氣さんはマルチなイメージ。器としても調理器具としても使える、及川静香さんの耐熱鉢を選ばせてもらいました。

取材・文:霜鳥 彩(ジョイフルタウン)

Next Performance

Noism×鼓童『鬼』

12.15(金)17:00・16(土)15:00・17(日)15:00 劇場 >>> 詳しくは
りゅーとびあカレンダーへ

私たちはNoismの活動を応援しています



活動支援のお願い

Noismではレジデンシャル活動を支援してくださる企業・個人スポンサーを募集しております。詳しくは <https://noism.jp/support/>

撮影:篠山紀信

りゅーとびあ等をご利用いただく公演、 県内の公立文化施設の自主事業をご紹介します!

各公演記載のマークは下記のとおりです。

チケット取り扱い:[A]りゅーとびあ2Fインフォメーション [B]新潟県民会館
[C]新潟伊勢丹 [D]ヤマハミュージックリテイリング新潟 [E]コンチェルト
[F]インフォメーションセンター えん(新潟日報メディアシップ1階)

本ページはりゅーとびあ利用団体等の広告ページです。広告のお問い合わせはりゅーとびあ広報営業課まで ▶ info@ryutopia.or.jp

10/28 (土) 第十回 入船亭扇辰独演会

毎年恒例、大好評の長岡市出身の落語家・入船亭扇辰の独演会を開催します。柔らかで落ち着いた雰囲気と端正な口調、滑稽話から人情斬まで、正攻法の古典の演者として、その地位を確立した扇辰の落語をお見逃しなく!

10月28日(土) 昼の部13:00開演(12:30開場)
夜の部16:30開演(16:00開場)
アオーレ長岡市民交流ホールA
全席指定¥2,000 U-25¥1,000 ※未就学児入場不可

チケット取り扱い:長岡リリックホール、
長岡市立劇場
(インターネット・電話・窓口)



主催・お問い合わせ (公財)長岡市芸術文化振興財団 TEL 0258-29-7715

11/12 (日) 文学座公演「逃げろ! 芥川」

高校演劇顧問も務める異色の作家・畑澤聖悟の新作。芥川龍之介と菊池寛の長崎旅行を通し、大正の文学者たちから見た100年前のパンデミック「スペイン風邪」。大流行の中たくましく生きる人々をユーモアを交えて描く。

11月12日(日) 14:00開演(13:30開場)
長岡リリックホール シアター
全席指定¥3,000 U-25¥1,000 ※未就学児入場不可

■作:畑澤聖悟
■演出:西川信廣
■出演:石川武、瀬戸口郁、若松泰弘、郡山冬果
鹿野真央、高柳綏子、日景温子、牧紅葉



チケット取り扱い:
長岡リリックホール、
長岡市立劇場
(インターネット・電話・窓口)



主催・お問い合わせ (公財)長岡市芸術文化振興財団 TEL 0258-29-7715

12/10 (日) 冬の午後のコンサート vol.9 ～笛吹きなら! やっぱりタファネル&ゴーベール～

12月10日(日) 14:00開演(13:30開場)
りゅーとびあ スタジオA
全席自由 一般¥3,000 学生¥1,500

■出演:明間奈々江、市橋靖子、平松文子
本間千鶴子(フルート)
熊木麻子、斎藤愛子(ピアノ)

Program
P.タファネル/アンダンテバストラルとスケルツェティーノ
P.タファネル/「フランチェスカ・ダリミニ」によるファンタジー
Ph.ゴーベール/ソナタ 第2番
Ph.ゴーベール/バラード
J.J.クヴァンツ/6つの二重奏より、第1番ト長調
J.A.ドゥメルスマン/「ウィリアム・テル」の主題による華麗な二重奏
チケット取り扱い:[A]



主催・お問い合わせ 冬の午後のコンサート事務局 TEL 090-1502-0581

11/4 (土) クリスチャン・ツイメルマン ピアノ・リサイタル

18歳で「ショパン国際ピアノコンクール」で優勝。2022年には第33回高松宮殿下記念世界文化賞音楽部門を受賞した現代最高と評される世界的ピアニストによる極上の音色をお楽しみください。

11月4日(土) 17:00開演(16:30開場)
柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
全席指定 S¥7,000 A¥5,500 U25¥3,500
※25歳以下は電話・窓口で取り扱い ※未就学児入場不可

曲目未定(決定次第、アルフォーレWebサイトでお知らせします)

チケット取り扱い:柏崎市文化会館アルフォーレ
(インターネット・電話・窓口)



主催・お問い合わせ 柏崎市文化会館アルフォーレ TEL 0257-21-0010

11/18 (土) 越の風vol.12 現代作曲家が贈る新しい音楽の風

11月18日(土) 14:00開演(13:30開場)
Program
道城美羽/Lebensborn Cemb.本間みち代
阿部亮太郎/この世の風 第6番 Va.佐々木友子、Cemb.本間みち代
富岡淳子/Lento～アルト・フルートとピアノのための歌～
A-Fl.金子由香利、Pf.貝津摩理
小西奈雅子/ROMANZE-IV for Viola and Piano Va.佐々木友子、Pf.渡部乃亜
「子どもたちへ」

後藤丹/組曲「夏の夜の夢」より Pf.布施結彩
さあ、真夜中だ～妖精バック～丘を越え、谷を越え
小西奈雅子/組曲組曲「ちいさな はなし」I)こんなこと あったのII) ねっ! おねがい III) 夢じゃないね?! IV) うたって! 子守歌
Fl.桜井翔悟、Pf.山田有莉
遠藤雅夫/歌声のごとあがる噴水 等と唄のために 等、武藤祥画
河内琢夫/「ヒロスマニの絵による3つの印象」 Pf.渡部乃亜
1.小鹿のいる風景 2.カヘティ地方の列車 3.復活祭の酒宴



りゅーとびあ スタジオA
全席自由 ¥3,000
中高生 ¥2,000
小学生以下 ¥1,000
(当日¥500増)
チケット取り扱い:[A] [E] [F]

主催・お問い合わせ TEL 025-386-4975/n.koshinokaze@gmail.com

12/24 (日) 宮田大 チェロ・リサイタル2023 一盟友と織りなす、豊潤な音色ー

日本を代表するチェリストとして国際的に活躍する宮田大、待望のリサイタル。今年4月にアルフォーレでレコーディングをしたCDの発売記念公演となります。10年以上デュオを組む盟友ピアニストと織りなす豊潤な音色にご期待ください。

12月24日(日) 14:00開演(13:30開場)
柏崎市文化会館アルフォーレ 大ホール
全席指定¥3,500 U25¥1,500
※25歳以下は電話・窓口で取り扱い
※未就学児入場不可

Program
吉松隆/ベルバット・ワルツ、村松崇継/Earth、坂本龍一/星になった少年、
加羽沢美濃/Desert Rose、久石譲/Asian Dream Song、
ピアノ/リベルタンゴ、サン＝サーンス:チェロ・ソナタ 第1番 作品32 ほか



チケット取り扱い:
柏崎市文化会館
アルフォーレ
(インターネット・電話・窓口)

主催・お問い合わせ 柏崎市文化会館アルフォーレ TEL 0257-21-0010

それゆけ園芸部！

～りゅーとびあの庭へようこそ～



1. 紫小花のアスターと稲穂のようなカマダグロステイブラキトリカ(長い!)
2～4. 9月から10月にかけて色づいてゆくコキア

今年は大変な降雨不足に見舞われ、秋の収穫への影響も心配される新潟の夏となりました。雨水循環システムを利用した屋上散水にスズメが水浴びに集まる場面に何度か出会いました。人にも自然にも本当に過酷な夏でした。

屋上庭園は、夏は全面直射日光を受け、冬は雪に覆われるという厳しい気候環境ですが、初夏と秋にはさまざまな花が彩を添えてくれます。秋には切り戻した花穂を切り花に、花束に…とお花屋さんになった気分です！また、植えた直後は枯れたかのように見えて失敗…と嘆いた株も、2年3年と時間が経って忘れたところに花を付けることがあることに近ごろ気が付きました。2年越しにしっかり育ったおしゃれなグラス系を添えてみました。



施設・利用課／Sさん
園芸部リーダー。趣味の庭いじりを業務にいかして活躍中。出勤日はほぼ屋上庭園に上がる。育てた花にSNSでたくさんの「いいね!」が付くことが何よりの励み。

実務実習で植栽体験

去る5月、開志専門職大学アニメ・マンガ学部2年生による臨地実務実習で、屋上庭園の植栽業務を体験に来てくれました。夏の芝枯れ防止用スプリングローの設置、ラベンダーの植え付けを体験してもらいました。



今年は運動部出身の体力自慢さんたち。



屋上北側にラベンダーを植えました。しっかりと根付いたようです。

締切迫る！10/22(日)まで

りゅーとびあの思い出キャンペーン

あなたのりゅーとびあの思い出を教えてください。今も記憶に残る公演や、大切な人と訪れた楽しい思い出など、どんなことでも構いません。その一つひとつが未来への糧になります。あなたの思い出は、ホームページなどに掲載させていただきます。



＼総勢300名以上の方に当たる！／

公演チケットやオリジナルグッズをプレゼント

A賞 公演ペアチケット(各公演2組4名／計26組52名)

2023年12月1日～2024年3月31日開催のりゅーとびあ主催事業の公演ペアチケット

2023
12/3(日)開催 東京交響楽団 第135回新潟定期演奏会
12/8(金)開催 野村万作・萬斎狂言公演「唐人相撲」
12/15(金)開催 Noism×鼓童『鬼』
12/16(土)開催 りゅーとびあオルガン・クリスマス特別公演2023
12/24(日)開催 観世流特別公演～翁～
12/31(日)開催 りゅーとびあジルベスター・コンサート2023

2024
1/7(日)開催 PARCOプロデュース『海をゆく者』
1/13(土)開催 JACROW「闇の將軍」四部作 ※全公演セット券
1/20(土)開催 It's ニイガタ Concert 2024 ※11:00開
2/3(土)開催 能楽堂で楽しむ節分
2/14(水)開催 二兎社『パートタイマー・秋子』
2/23(金・祝)開催 「能楽師に聞く 能の楽しみ〈春〉」
3/3(日)開催 春風亭小朝 独演会 第二十四回公演

※12/2(土)・3(日)開催 東京バレエ団×金森穰「かぐや姫」、
2024/2/12(月・振)開催 にいがたジュニアコーラス・フェスティバル2024、
2024/3/16(土)開催 石丸由佳ラスト・リサイタルは対象外です。

お問い合わせ:りゅーとびあ事業企画部 広報営業課
TEL.025-224-7000(平日10:00～18:00/休館日除く)

ご応募はこちらから

<https://www.ryutopia.or.jp/25th/>

※キャンペーンの詳細はHPでご確認ください。



B賞 りゅーとびあオリジナルグッズ(250名様)



▼シャルトル国際コンクール授賞式の様子



▲ともに本選に挑んだ戦友たち

Next
Concert

りゅーとびあオルガン・クリスマス特別公演2023

専属オルガニスト 石丸由佳×演劇スタジオ キッズ・コース APRICOT
『クリスマス・ストーリー サンタとケーキがないクリスマス!』

12.16(土)16:00 コンサートホール

profile オフィシャルウェブ▶

石丸由佳 ISHIMARU Yuka

新潟市生まれ。りゅーとびあで初めてパイプオルガンに触れたことがきっかけでプロの道へ。10か国100か所以上でのコンサートを経て、今に至る。



▼シャルトル大聖堂



◀▲大聖堂の裏側にある石の螺旋階段や古い石像

シャルトルに到着し、ファイナリスト4人での顔合わせ。

まずみんなで本選当日までの一週間の練習スケジュールを組みます。

今思えば若いオルガニストの教育目的もあるのでしょうか、一次・二次予選ではレジストレーション(音作り)が完成するか否か程の僅かなりハーサル時間しか与えられないのですが(その時間の使い方もオルガニストとして大事な所)、本選ではシャルトルの街のいくつもの教会が私たち4人のためにオルガンを開放してくれ、またシャルトル大聖堂での準備の時間も十分に与えられます。

人生で初めて弾く大聖堂のオルガン。しかも世界遺産で、残響の長さも人生初の体験。多くの人が踏んでいびつに凹んだ石の螺旋階段を、ぐるぐるのぼって辿り着くオルガン裏の小部屋には古い石像の首が無造作に転がっていたりして…。

新潟市でオルガンに出会った二十歳そこそこの日本人オルガン科学生が、ヨーロッパの歴史と文化の中心部分に突然連れて来られてしまった、という感覚。

本選メンバーにフランス人がおらず、全員シャルトルの地では“外国人”だったこともあってか、和気藹々と宿舎のような雰囲気です。1週間を過ごし、本選当日の朝にくじ引きで演奏順を決めました。私が引いた紙は「4」。1人45分×3の演奏の間、手に汗を握りそわそわしながら石像たちと共に過ごし、演奏台へ。シャルトルブルーと呼ばれる美しいステンドグラスの青い光に包まれ、お香のかおりが立ち込めるその場所に座ると、不思議なことに緊張よりもここで演奏できることへの感謝の念が込みあげてきて、夢心地の45分間でした。

ブラインド審査の為、結果が出るまでは携帯も没収され、小部屋に閉じ込められた4人が螺旋階段をおりると下でカメラを抱えた人々に囲まれ、そのまま表彰式へ。フランス語での進行が全く理解できずボーッと座っていると突然名前を呼ばれました。動揺していると隣にいたドイツ人の戦友が「ユカ、グランプリだ!前に出て来いって言われてるよ!」と教えてくれました(汗)。

ここからシャルトル優勝者としての約4年に渡る10か国約100か所を巡るコンサートツアー、第二の武者修行が始まるわけですが…りゅーとびあ専属オルガニストとしてのこのコーナーの執筆は、今回が最後です。

私を育ててくれた新潟の地と、オルガニスト人生の入り口となったりゅーとびあに感謝を込めて。

これからもパイプオルガンをたくさんの人に知ってもらい、パワーや癒しを届ける活動を続けていきたいと思っています。

4年間ありがとうございました!



詳しくはP04へ

りゅーとびあ専属オルガニスト石丸由佳
ラスト・リサイタル
2024.3.16(土)14:00 コンサートホール